

成果発表



薬の選定療養について

いるか薬局実習生

大阪大谷大学 奥山音絵



もくじ

● 薬の選定療養とは

● 保険給付の対象

● メリットとデメリット

● アンケート調査の結果

● 考察

● おわりの挨拶

● 薬の選定療養とは ●

薬の選定療養 って一体どう いう制度？



- 選定療養とは厚生労働大臣が定める患者の快適性や利便性に関する療養、医療機関や医療行為等の選択に関する療養を意味します
- 「薬の選定療養」は令和6年の10月から始まった、長期収載医薬品の処方を希望する患者さんに特別な料金をお支払いいただくシステムです

長期収載医薬品

再審査機関が終了していて、すでに特許も切れている後発医薬品のある先発医薬品のことです

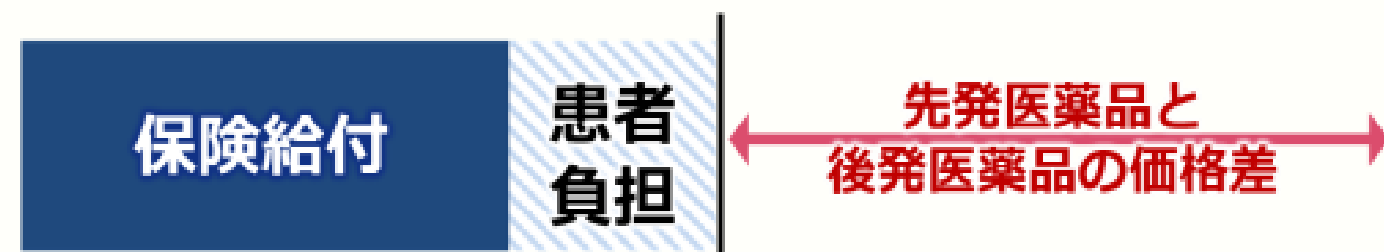
特別な料金について

先発医薬品と後発医薬品の価格差の4分の1が選定負担となり、
これを「特別な料金」として患者さんにお支払いただきます

先発医薬品
※令和6年10月以降、
医療上の必要性がある場合



後発医薬品



先発医薬品
※令和6年10月以降、
患者が希望する場合

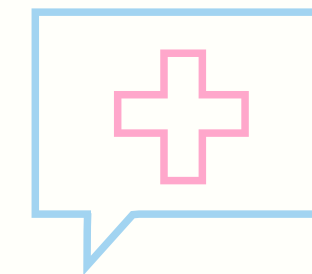


出典：厚生労働省ホームページ
https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_39830.html



保険給付の対象

選定療養が適応されないもの



承認された
効果効能が異なる
もの

後発品の提供が
困難な場合

剤型に問題が
あるもの



相互作用
副作用が
あるもの

薬剤師の判断で
変更した場合

説明を受けて
後発品への変更
を希望した場合

● メリットとデメリット ●

メリット



- 後発品への切り替え
後発品の活用により
患者さんの経済的負担を
軽くできる
- 保険財政の改善
保険給付が減少すること
によって国民保険を守る



デメリット



- 公平性の問題
経済的に余裕がある人
だけ先発品を利用できる
のか？
- 経済的負担
保険適応外の費用を自己
負担しなければならない

では実際に患者さんは
どう思っているのいるのか

いるか薬局で79人の患者さんに
アンケートを取りました！



いるか薬局にて 先発を希望している患者さんへ 実際に使用したアンケート用紙



9月12日～10月12日まで
合計79人

アンケート調査へのご協力のおかげ

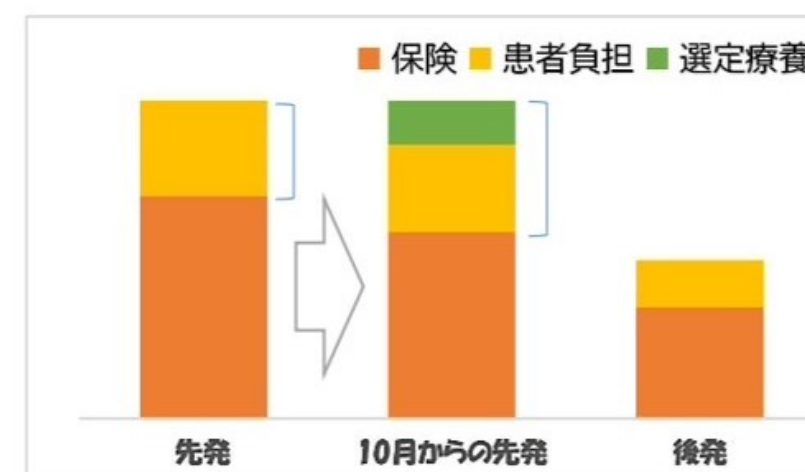
薬局の選定療養についてどうお考えですか？みなさんのお声をお聞かせください
お名前（ ）

★薬局の選定療養についてご存じですか？

はい いいえ わからない

令和6年10月から始まる『ジェネリック(後発医薬品)あるお薬で、
先発医薬品の処方を希望される場合に特別な料金を頂く新しい制度』です。

今まで通り先発医薬品を希望していると薬の料金が高くなる可能性があります
しかし後発医薬品に変更すると、



先発のままだと
特別な料金が追加
されるのか



グラフの通り患者さんの自己負担額が減額されます！
この機会にジェネリックへの変更を検討されてみてはいかがでしょうか？

★上記の説明を受けて後発医薬品に変更したいと思いませんか？

はい いいえ 考えておく

★いいえにチェックを記入した方へ、理由を選んでください(複数回答可)

服用したことはあるが効き目が悪かった 副作用が出た
 口当たりや風味が嫌 後発医薬品は信用できない
 今まで使っていたものから変更したくない
 その他 ()

ご協力ありがとうございました



選定療養を知っていますか？

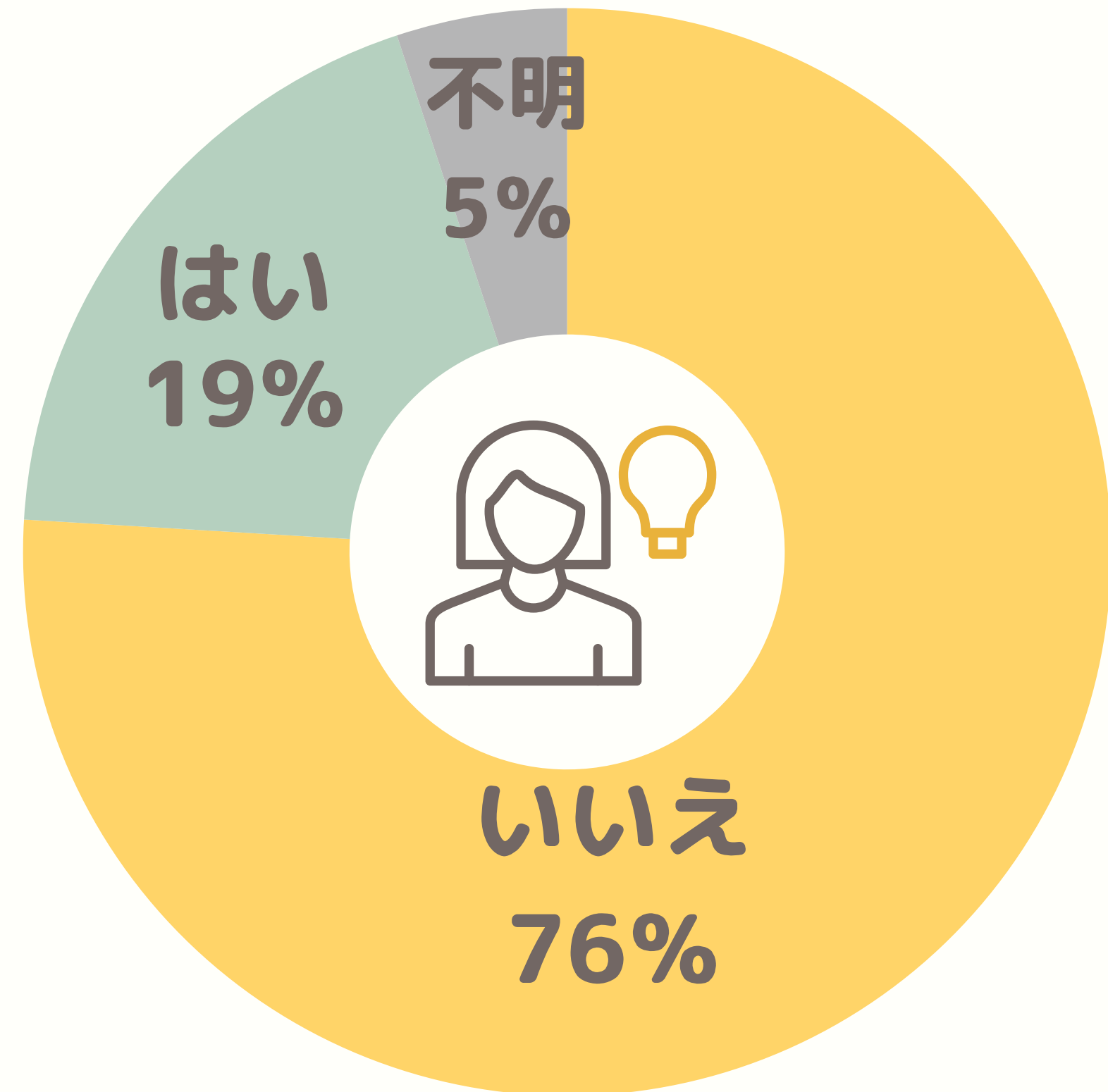
選定療養を知らない
患者さんが多い！



薬剤師がきちんと
説明する必要性が高い！



知っていた方は
テレビや新聞から
という意見が多いです



• いるか薬局の後発品変更の割合 •

1.先発品希望 理由

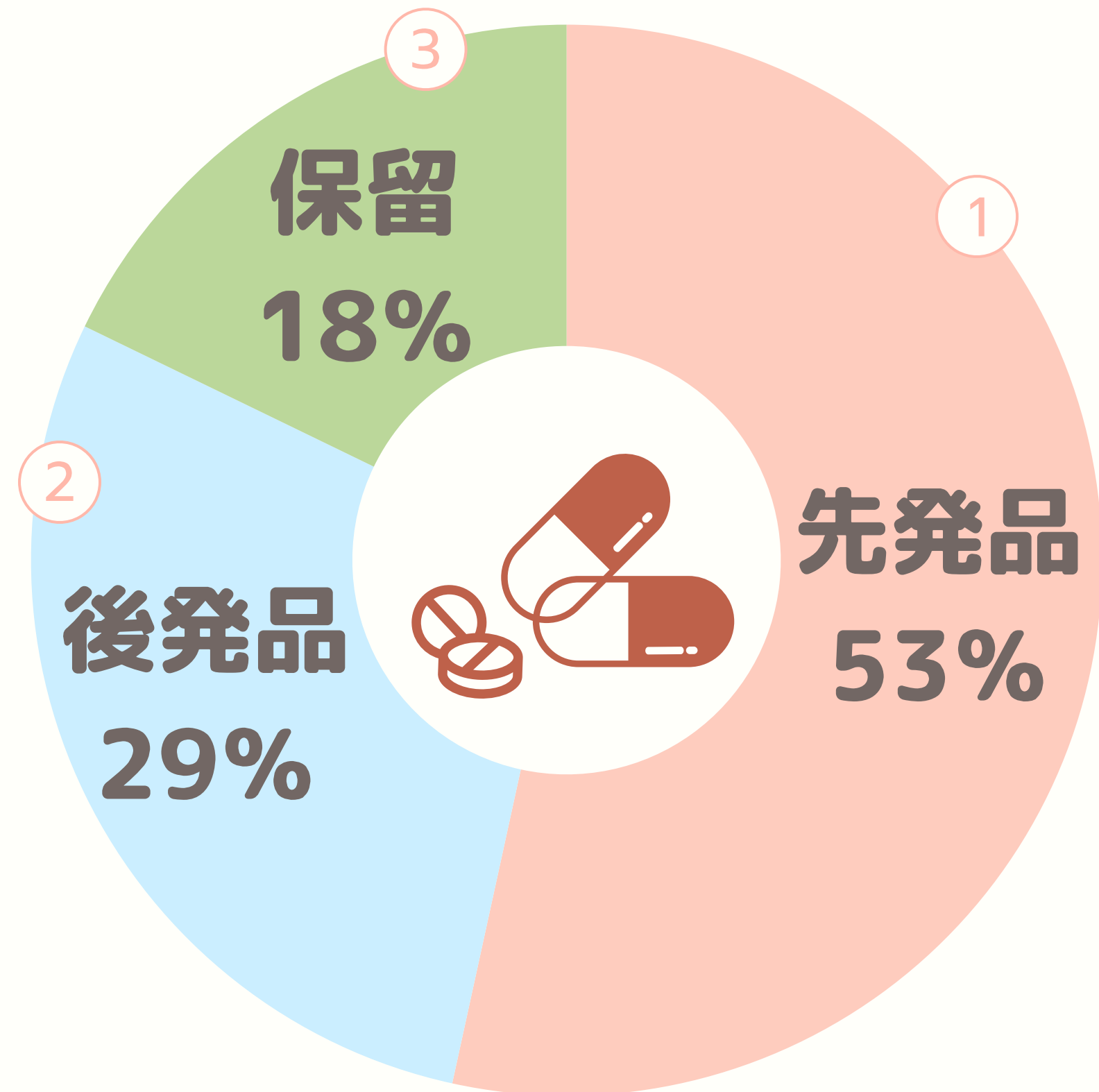
- 次のスライドにて紹介

2.後発品希望 理由

- 値段が気になるため
- いずれ変えるのなら…

3.保留 理由

- 本人ではない
- 医師に相談して決める



先発品希望理由

この結果から先発品を希望した患者さんは後発品に対して抵抗があることがわかります

患者さんがより良い選択をできるように、後発品に対する正しい説明ができるようになることが重要！



まとめ

- **選定療養について知らない患者さんが多いので
薬剤師がきちんと説明すること**
- **後発品は生物学的に同等で、安心して使える
お薬だと説明できるようになること**

今後の展望

今回のいるか薬局の調査では先発を選択する
患者さんが多い傾向にありました

今は差額の1/4ですが、例えば今後1/3、1/2
と特別な料金が増えていったら…



先発を希望していた患者さんも
後発品への変更を選択されるかもしれません

患者さんに安心して
お薬を使っていたただけるように
正しい情報提供ができる薬剤師に
なるため、尽力して参ります！

ご清聴ありがとうございました

